

# 図書・資料室だより



月1回の発行で“暮らしに身近な”男女共同参画の本いろいろをご紹介します♪

## おすすめBOOK

この本、  
読んでみて!



『主婦になったパリのブルジョワ女性たち

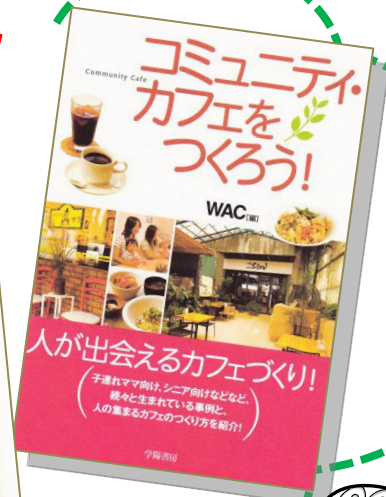
～100年前の新聞・雑誌から読み解く～

松田祐子 著 大阪大学出版会 2009年

1900年前後のパリ、ブルジョワ階級の主婦をテーマにした本書。華やかで堅実、伝統や家庭を重んじる女性をフランス女性の魅力とし理想の女性像であるとされていたのは、実は男性視点であり男性にとって都合のよい女性像であったという。著者は100年前のフランスの新聞や雑誌を読み解き女性たち自身の目から見た女性像を描きたいと本書で述べている。女性の日常生活を結婚、子育て、家事、家政の4つの面に分け新聞や雑誌に掲載された生活情報を元に検証している。例えば“金をかけずに優雅さと魅力を備える”“母乳にしましょう、でも子守は必要です”など優雅であるがための努力が窺える。当時の写真や記事も豊富に掲載されていて日本や今との違いを楽しめる気軽な研究書となっている。

## あたらしい本が入りました!

コミュニティ・カフェづくりの本とコミュニティ・カフェの全国MAPが掲載されているガイドブックです。小さなカフェを作りたい人にピッタリの本です。



## ☆お知らせ☆

4月から図書・資料室の  
開室時間が長くなります!  
9:00~17:00

うら面：特集『〇〇女&〇〇男 ～時代は変わるよどこまでも～』

おススメ映画や絵本・お知らせなどぎっしり詰まっています!

# 〇〇女&〇〇男

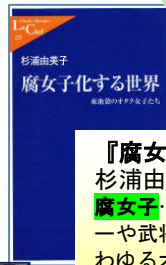
～時代は変わるよどこまでも～



時代の流行や世代の特徴をつかんで定義され名づけられる新語・造語。最近では“森ガール”や“草食男子”などを様々なところで目にします。今特集では男女の特徴や世代をテーマにした本を集めてみました。懐かしいものから最近のもまでいるんな“〇〇世代、〇〇男・女”が！あなたはどれにあてはまりますか？



『「かまやつ女」の時代』  
三浦展著 2005年  
かまやつ女…昔の中高年男性のようなファッションをする若い女性を称している



『腐女子化する世界』  
杉浦由美子著 2006年  
腐女子…アニメキャラクターや武将などに夢中な、いわゆるオタクな女子のこと。



『モグラ女の逆襲』  
残間里江子著 2007年  
『それでいいのか蕎麦打ち男』  
残間里江子著 2005年  
2007年に団塊世代が定年を迎えることから「2007年問題」と呼ばれ団塊ブームが起こる。残間里江子著の“モグラ女”“蕎麦打ち男”は団塊男女の特徴をとらえた団塊論

『負け犬の遠吠え』  
酒井順子著 2003年  
負け犬…未婚、子なし、30代以上の女性をさす。本書がブームの火付け役となり2004年の流行語大賞トップテンに選ばれた。



『女の前で号泣する男たち』  
富澤豊著 2008年  
急増する泣く男について事例調査された本書。なぜ泣く男が増えたのか、そもそも男性は何に泣いているのかを調査した。



『大人になった新人類』  
河北新報社会学部著 2004年  
新人類…1983年頃から呼ばれ始め1960年～70年代前半に生まれた人々のこと。上の世代と全く違った感覚を身に帯びているから新人類と呼ばれた。本書は新人類が30代になってどんな生き方をしているのかを探っ



## え～本(絵本)よんで!



『貧乏クジ世代 この時代に生れて損をした!?!』香山リカ著 2006年  
貧乏クジ世代…「第2次ベビーブーマー」「団塊ジュニア」と称される70年代に生まれた人々のこと。熾烈な受験戦争、就職のころにはバブル崩壊で就職難。そんな世代の特徴とは?

『おやすみなさい フランシス』  
ラッセル・ホーバン 文  
ガース・ウイリアムズ 絵  
まつおかきょうこ 訳  
福音館書店 1966年



フランシスはおやすみのじかんになってもねむくありません。大好きな人形や歌を歌ってみたけど、ねむれません。そのうちいろいろなのが気になって…。眠れない夜のこどもの心境が伝わります。

## これ、知ってる? マガジン編

『セクシュアリティ』  
エイデル研究所  
人間と性をめぐる  
教育と文化の総合情報誌  
最新号は…



特集：若者と性—語る、求める、動く—  
性教育やあらゆる性に関する最新情報を届けている季刊雑誌。  
デートDV、性同一性障害など今問題とされている性情報を幅広く取り上げる。恋愛や性について若い人はどう考えているのか? 本音や実情がわかる。

## おすすめ映画

### 『17歳』

監督/脚本：フェルナンデス・アルメロ  
1996年 スペイン  
制作：タキ・コーポレーション



パトリシア17歳—探していたのは本当の自分  
世代も生活も全く異なる3人の女性が出会い24時間を過ごす。特別な時間の流れのなか、それぞれの新しい自分を発見してゆく。

……図書・資料室 ご利用案内……

開室時間 10:00~16:00

※4月からは9:00~17:00となります

3月の休室日 7日、14日、22日、28日

TEL 0748-37-3751

### ♪編集後記♪

私は団塊ジュニア世代。今風にいえばアラフォー世代。第2次ベビーブーマーだから受験の度に苦勞、就職ではバブル崩壊のあおりをもらって受けた就職氷河期世代。陰では貧乏クジ世代と揶揄され…涙。なんだか歌詞みたい(N)。



# 図書・資料室だより



月1回の発行で“暮らしに身近な”男女共同参画の本いろいろご紹介します♪♪



## おすすめBOOKS この本、読んでみて!

### 『女、一生の働き方

『貧乏ばあさん (BB) から働くハッピーばあさん (HB) へ』

樋口恵子著 海竜社 2010年 (366.3ヒ)

「女の老後」は貧乏になるようにできていた?!

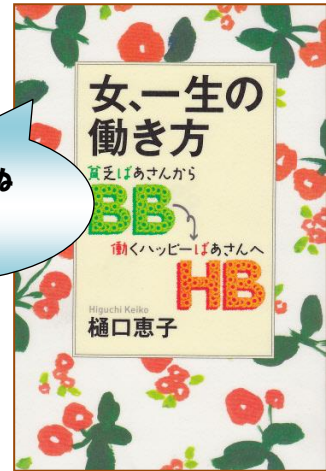
日本は少子高齢社会に突入し、人生100年時代。

高齢女性が貧乏になる理由を賃金格差、雇用制度などに原因追求し“3回のすべり台”と表現。そしてこれからは女性の「老働カ」が日本には必要と提案。

全国の働くハッピーばあさんの実情レポートを紹介。

(※注意! 本書はくりかえし「貧乏」と「ばあさん」ということばが出てきます。気になる方は2ページ“はじめに”を読んでから読み進めてくださいね! 気分よく読めます。)

労働力ならぬ  
「老働カ」



### 『大塚女子アパートメント物語 オールドミス館によろこそ』

川口明子著 教育史料出版会 2010年 (365.3カ)

1930年、独身の“職業婦人”のために日本で初めて建てられた「同潤会大塚女子アパートメントハウス」。「オールドミス」などと揶揄され、働く女性に対する偏見がひどい時代、アパートは女性たちを守るシェルターでもあった。しかしホテル並みの設備と住まいは高給の女性しか借りられず働く女性にとって憧れでもあった。本書は2003年にアパートが取り壊されるまでを追い、時代に抗って生きた住人たちの様々なドラマを紹介していく。

日本で最初の女性専用ア  
パートメントハウス

## 絵本(繪本) 読んで

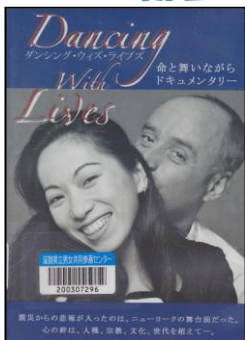
### 『アンナの赤いオーバー』

ハリエット・ジーフェルト/文  
アニタ・ローベル/絵  
松川真弓/訳 評論社1990年



すり切れて小さくなってしまったアンナのオーバー。でも戦争でお店も空っぽ、お金もない…。そこでおかあさんは、家にあるすてきな物を交換してオーバーの材料を手に入れることを思いつきます。羊の毛から赤いオーバーができるまで、アンナは毎日楽しみにすごします。物の価値や大切さ、いろいろな人の手で作られていることを感じられる絵本です。

## ☆☆新着DVDのおしらせ!☆☆



### 『ダンシング・ウィズ・ライズ』

～いのちと舞いながら～

監督：横間恭子

制作：コネクトテッドアース

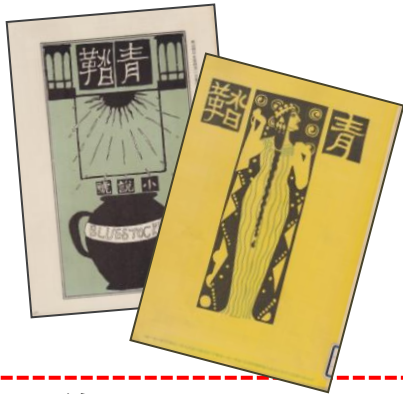


阪神大震災で家族全員を失ったという不幸を乗り越え、ニューヨークで強く生きる日本人女性ダンサーの10年を追ったドキュメンタリー映像。

うら面：『青鞥』 発行100年記念特殊!」

G-NET シネマおしらせなどぎっしり詰まっています!

# 『青鞜』発刊100年記念特集



今年は『青鞜』発刊100年にあたります。

『青鞜』は1911年、平塚らいてうが中心となって創刊した日本で最初の女性による文芸誌です。100年前、女性はどんなことを考え、意欲や希望を持って生きていたのでしょうか—。

**『青鞜』復刻版 第一巻第一号 1911年**  
(明治44)9月1日創刊  
与謝野晶子の「山の動く日来る」に始まり平塚らいてうの「元祖、女性は太陽であった」など今となっては貴重な文献。

『『青鞜』を読む』  
新・フェミニズム批判の会編  
学芸書林 1998年

文芸誌『青鞜』を小説、詩、短歌などの文学、時代背景やセクシュアリティ、メディアなどから『青鞜』をあらゆる視点で解説。本格的に『青鞜』を学びたい人に。



## “平塚らいてう”について こんな資料も…

『まんが 平塚らいてう物語』  
竹中らん作 かもがわ出版  
1996年  
平塚明(はる)は厳格な父を説得し東京の女子大に進学、やがて『青鞜』を創刊する。  
らいてうの生涯をわかりやすくまんがで紹介。



### 『平塚らいてうの会 紀要』第3号

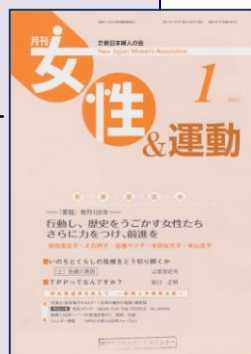
2010年 NPO法人平塚らいてうの会編集発行

- ◆特集:『青鞜』の時代と信州
- ◆講演記録:「漱石とらいてう」小森陽一

## これ、知ってる? マガジン編

月刊『女性&運動』  
新日本婦人の会 編集発行

主に女性の労働やジェンダー問題、環境・平和に対して問題提起している。  
◆最新号特集は・・・  
「～『青鞜』発刊100年～行動し、歴史をうごかす女性たち さらに力をつけ、前進を」  
最新号の貸出OK!



『『青鞜』人物事典～110人の群像』らいてう研究会編  
大修館書店 2001年

平塚らいてうはじめ、伊藤野枝、長沼智恵子など『青鞜』に関わった女性たち110人の群像集。写真と個人年表も掲載されている。

☆☆☆G-NET シネマ☆☆☆

2月18日(金)10時～

「イフ・オンリー」

1998年/アメリカ/92分/字幕

監督:マリア・リポル

もしも、あのラブ・ストーリーがふりだしに・・・恋のリターンマッチ!“if”の物語。

……図書・資料室 ご利用案内……

開室時間 10:00～16:00

2月の休室日 7日、12日、14日、21日、  
28日

TEL 0748-37-3751



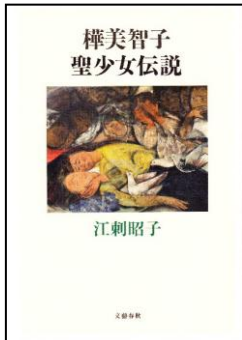
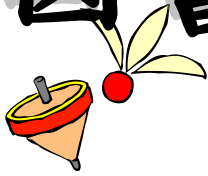
### ♪編集後記♪

「図書・資料室だより」を発行して一年が経ちました。毎月、今号は何にしようかと本棚を見て回って「こんな本があった」と改めて知ることも多く発見と学びの一年間でした。これからいろいろな本をご紹介し号数を重ねていきたいです。(N)



# 図書・資料室だより

月1回の発行で“暮らしに身近な”男女共同参画の本いろいろをご紹介します♪



『樺美智子  
聖少女伝説』  
江刺昭子著  
文芸春秋

没後50年、“60年安保”悲劇のヒロイン樺美智子の素顔。1950年～60年代の学生運動のさかんだった時代、東大の女学生だった樺美智子もめりこんだ一人だった。本書は樺美智子の幼少の頃や常に自分の意見を持って女性問題について議論をかわしていた高校時代から東大学生運動での様相と悲惨な死までを検証。

この学生運動は後の70年代ウーマン・リブ運動のきっかけとなったといわれている。



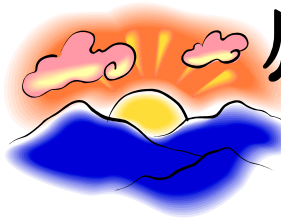
『リブニュース この道ひとすじ  
リブ新宿センター資料集成』  
リブ新宿センター資料保存会編  
インパクト出版会

ウーマンリブ拠点の一つとして1972年に開所されたリブ新宿センター。そこで発行されたのが『リブニュースこの道ひとすじ』。70年から77年にかけて発行されたものを保存会が11年の歳月をかけて整理し、まとめた。リブの活動を知るならコレとでもいべき本。手書きの誌面が時代と情熱を感じさせます。

## リブをもっと知るなら

- ☆『資料・ウーマン・リブ史』  
全3巻 松花堂書店
- ☆ビデオ『ルッキング・フォー・フミコ  
～女たちの自分探し』栗原奈名子
- ☆『かけがえのない、たいしたことのない私』田中美津著 インパクト出版会  
など他にも多数あります。

## リブを知る、感じる。



リブとは、ウーマン・リブ (Women's Liberation) 1960年代アメリカの女性中心におこった女性解放運動が先進国を中心に世界に広がる。日本のリブは1970年代に入ってから活発化。田中美津などが有名。ジェンダー、フェミニズムの原点とも言われ、第2波フェミニズムとも呼ぶ。



『30年のシスターフッド』  
山上千恵子、瀬山紀子／監督  
女たちの歴史プロジェクト／企画

70年代のウーマン・リブの女たちの今は？かけがえのない「私」を生きたいと声をあげた女たちのヒストリー



『新編日本のフェミニズム  
1 リブとフェミニズム』  
岩波書店

日本のフェミニズムとリブについて知るならこの本。1970年代～80年代の女性解放運動の流れがわかりやすくまとめられている。読むべき資料なども豊富に紹介されている。



『「女縁」をきた女たち』  
上野千鶴子 著  
岩波書店 2008年

80年代の専業主婦たちは家庭を飛び出しめざましい活動を展開していった。70年代のウーマンリブ以降の女性たちに生き方を上野千鶴子が実態調査に基づき研究。本書は1988年刊『女縁』が世の中を変える』から20年後に増補新版として復刊された。女縁とは地縁血縁社縁のどれにもあてはまらない女性たちが作り上げた関係性のことで上野千鶴子の造語。

うらな：特集2「世界で活躍する日本の女性たち」

G-NET シネマおしらせなどぎっしり詰まっています！

# 世界で活躍する日本の女性たち

私、映画のために1億5千万円集めました。

『私、映画のために1億5千万円集めました。』益田祐美子・著 角川書店  
普通の主婦がひょんなことからイランと日本の合作映画を製作することに。山あり谷ありの映画製作エピソードにハラハラ。映画『風の絨毯』ができるまで。



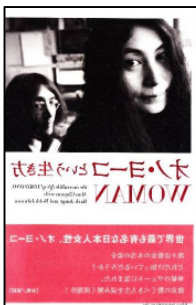
『マダム貞奴  
世界に舞った芸者』  
レズリー・ダウン・著  
集英社  
日本で最初の女優であり、ニューヨーク、パリなどで高い評価を得た貞奴。芸者から世界のスターへと駆け上がった彼女の魅力に迫る一冊。

『パリ、女ひとりシェフ修業』  
塚本有紀・著  
ソニーマガジンズ

本場でもっと学びたいと好きな仕事を辞めて単身フランスへ。涙と喜び、そして美食に満ちた留学記。



『オノ・ヨーコという生き方 WOMAN』  
アラン・クレイソン、他・共著  
ブルース・インターアクション  
世界で最も有名な日本人女性といえば、オノ・ヨーコ（小野洋子）。幼少から現在まで、彼女の驚くべき人生を読み解く。



## これ、知ってる？ マガジン編

月刊『日経WOMAN』

日経ホーム出版社

働く女性のライフスタイルを楽しく快適にするための情報誌。  
最新号はウーマン・オブ・ザ・イヤーズ2011特集。女を磨く読書案内、女性のための投資講座など。

最新号の貸出OK!



## おすすめ映画

『ポラー・エクスプレス』

吹替版 (VHS)

ロバート・ゼメキス/監督

2004年 100分



クリスマス・イブの夜にだけ現れる謎の機関車「ポラー・エクスプレス」号に乗ってクリスマスの聖地北極点へ！幻想的で美しい背景と猛スピードで走り抜ける機関車のスリルいっぱいの冒険に目が離せません！

## え〜ほん(絵本) よ〜んでっ!



『虫めずる姫ぎみ』

いまぜきのぶこ・作  
しらねみよこ・絵

国土社



平安時代の美しいお姫さまは虫が大好き。お化粧などには見向きもせず虫をかわいがり、まちの子どもたちと歌ったり踊ったり。

“ものの本質を見ることが大切”と、自分をしっかり持っているお姫さまのお話です。

お姫さまの十二単の模様にも注目してみてください。(原典『堤中納言物語』「虫愛ずる姫ぎみ」)

.....図書・資料室 ご利用案内.....

開室時間 10:00~16:00

1月の休室日 1日~4日、11日、17日、  
24日、31日

TEL 0748-37-3751



.....☆・☆G-NET シネマ☆・☆.....

1月21日(金)10時~

『愛は霧のあなたに』

原作:ダイアン・フォッシー/監督:マイケル・アプテッド 1988年  
ゴリラの保護にすべてを捧げた女性動物学者・ダイアン・フォッシーの熱い生涯を映画化。

♪編集後記♪ あけましておめでとうございます!

お正月はいかがでしたか?私は録画しておいた連続ドラマや映画を見たり、家族で出かけたりと穏やかに過ごすことができました。今年も暮らしや生き方に輝きと潤いをあたえてくれるような本を紹介していきます!(N)



# 図書・資料室だより



月1回の発行で“暮らしに身近な”男女共同参画の本、いろいろご紹介します♪♪

## 寒い季節は、こころあったまる本を♡

2010年も残すところあとわずか。

人との出会いや別れ、様々な体験、子どもの成長など、  
平凡な日常の繰り返しに思えても一年を通していろいろな  
ことがあったと思います。慌ただしい季節にちょっとひとやすみ…  
親しい人や家族が思い浮かぶような、心がじんわりする本をあつめました。

### 『山のある家 井戸のある家 東京ソウル往復書簡』

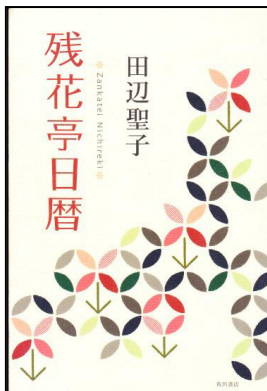
津島佑子・申京淑 著 きむふな 訳 2007年 (915ツ)

日韓を代表する女性作家が手紙を交わし合った。  
お互いの暮らしや家族の話、日本と韓国の社会のこと、文学のことなどを  
思いつくまま手紙を交わしあった一年間。回を重ねるごとに国境を越えた  
理解と共感が増していく。それはささやかな時間でありながら美しい賜物  
のような経験だと。ゆったりとした時間のなかで相手のことを思いながら  
書き進める手紙に読者の心も温くなる一冊。



### 『残花亭日暦』

田辺聖子著 2004年 (915タ)  
おせいさんと田辺聖子さんの  
日々のことを綴った日記。原稿の  
締め切りや講演会など作家として  
超多忙なおせいさんですが、最愛の夫  
(カモカのおっちゃん)の  
看病とやがて来る別れ、周囲の  
人々の優しさが田辺さんらしい  
ユーモアで綴られている。



### 『子どもと一緒に家のこと おてつだい12か月』

山本ふみこ著 2007年 (590ヤ)  
子どもと一緒に大掃除やお正月の準備も  
子どもにとって楽しい冬休みの思い出となり  
ますね。山本ふみこさんの季節のエッセ  
イと挿絵に気持ちもほっこりします。



**自宅から所蔵検索!**

センターHPのここ↓をクリック!!



### 『柳澤桂子 いのちのことば』

柳澤桂子 著 2007年 (914ヤ)  
生命学者である著者が病に倒れ病床で  
の37年間の思索をたどった一冊。科学者  
として、ひとりの人間として死生観をやわ  
らかなことばで綴る。一頁ごとに慈悲に満  
ちた言葉はそっと心に沁みる手紙のよう  
です。

うら面:「おすすめBOOKS!」と絵本、雑誌、映画の紹介、  
G-NET シネマおしらせなどぎっしり詰まっています!

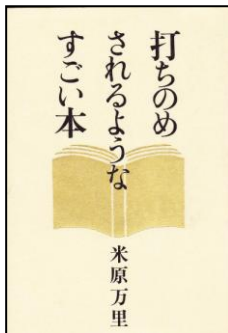
# おすすりめBOOKS!



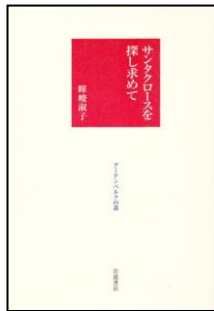
『いつも、ふたりで  
ばーさんがじーさんに作る食卓』  
岡西克明・松子 著  
2006年(596マ)

京都の自然豊かな自宅で老夫婦二人、素朴でささやかな暮らし。おいしそうな料理やみずみずしい野菜の写真と文にゆったりとした時間の流れを感じる。

『打ちのめされるようなすごい本』  
米原万里 著 2006年(019ヨ)  
週刊文春「私の読書日記」として米原万里さんの連載をまとめたもの。彼女は2006年5月に癌で亡くなる間際まで執筆を怠らなかつた。連載中、自身の闘病と母の死など壮絶な人生であったにもかかわらず率直であっけらかんとした文体は読む者を楽しくさせる。



『比叡ゆばから始まるおいしい話』  
八木幸子 著 2005年(596.3ヤ)  
精進料理で欠かすことのできない湯葉は乾物にすると凍らず、厳しい冬を過ごす修行中のお坊さんにとって貴重な越冬食でもあるなど湯葉にまつわる話と年末年始のつかれた胃にもやさしい湯葉アイデア料理のレシピ付。



『サンタクロースを探し求めて』  
てるおがいて 暉峻淑子 著 2003年(019テ)  
生活経済学者である著者がサンタクロースの絵本を書こうと思い立ったいきさつを中心に子どもの頃のクリスマスの思い出や子どもに読み聞かせた絵本、サンタクロース生誕の地を訪ねる旅のエピソードなどを楽しく語る。

## よし、知ってる?

### 季刊「女たちの21世紀」

アジア女性資料センター

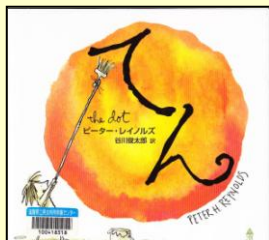
編集・発行

ジェンダー視点で世界を知る、学ぶ情報誌。毎号、話題性のある特集は読み応えタップリ！国内海外の女性ニュースも紹介！最新号は「今日、なに着てく？～装いのポリティクス」民族服やアパレル業界の裏側など装いと女性について特集。

最新号の貸出OK!



## え～ほん(絵本)よ～んでっ!



『てん-The dot』  
ピーター・レイノルズ・作  
谷川俊太郎・訳  
あすなろ書房 2004年

お絵かき大嫌いなワシテ。お絵かきの時間にワシテが描いたのはちっぽけな《てん》ひとつ。そのちっぽけな《てん》にかくされた大きな意味とは？…。枠にはまらない自由な楽しさに気づく絵本です。

## おすすめ映画

### 『沙羅双樹』

監督：河瀬直美  
2003年



奈良の旧市街、代々墨職人を受け継ぐ麻生家は4人家族。暑い地蔵盆の日、兄が“神隠し”にあったかのように突然消えた……。この映画の撮影時、妊娠中だった河瀬監督はそこで出会った助産師の影響で今年の最新作『玄牝』を作るきっかけにもなったとか。人と街と生きていく素晴らしさを感じられる作品。

☆☆☆G-NET シネマ☆☆☆

12月17日(金)10時～

### 『ガープの世界』

原作：ジョン・アーピング／監督：ジョージ・ロイ・ヒル  
生まれたときから父がいない男性の数奇な運命を戦後の時の流れの中で追う。

……図書・資料室 ご利用案内……

開室時間 10:00～16:00

12月・年末年始の休業日

6日、13日、20日、24日、27日  
28日～H23年1月4日

TEL 0748-37-3751



♪編集後記♪ ついに息子からサンタクロースの存在について聞かれてしまい…たねあかし。息子はホッとしたような、やっぱりなというような顔。でもクリスマスを指折り数えて心待ちにしている様子です。皆様よいお年をお迎えくださいね。(N)



# 図書・資料室だより

月1回の発行で“暮らしに身近な”男女共同参画の本いろいろをご紹介します



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

## 「女性に対する暴力をなくす運動」

(11月12日～25日)

### DV: 恋人や配偶者からの暴力

女性に対する暴力とは恋人や配偶者からの暴力(DV)、性犯罪、ストーカー、セクハラ、売買春、人身取引などがあげられます。暴力は家族や親しい関係ほど気づかれにくく、被害者もそれが犯罪に値するとは気づきにくいものです。また身体への暴力だけではなく、言葉の暴力も含まれます。どんなことが暴力になるのか当事者も周囲もきちんと知ることが大事です。



### 「DV・被害者のなかの殺意 ネット依頼殺人の真実」

北村朋子 著 現代書館 2009年 (368.6 円)

2005年4月、主婦が夫を保険金目的でネットを利用して殺人を依頼した事件の真相を解明。加害者である主婦は20年間も夫の暴力に苦しんだ末の犯行だった。ではなぜ保険金目的と報道されたのか？DV防止法が施行されているにも関わらず20年間にも及ぶDVの恐怖や被害について判決は加味されず主婦は懲役18年の刑で現在も服役中である。事件を追ううちに様々な問題が複雑に絡んでいることがわかってきた。人為的に操作されてしまう調書の事実、司法サイドや社会のDVに対する無知、ネット社会の恐怖など…問題が浮き彫りにされる一冊。本書はこれらの問題の一助となるべく執筆された。



### ストーカー

「うわさ、もちろもち」藤子著 講談社コミックス  
ストーカーがテーマの少女コミック。高校生のまなみは彼氏と別れたつもりが…



### 性犯罪

### 「性犯罪被害にあうということ」

小林美佳 著 朝日新聞出版 2008年 (368.6 円)

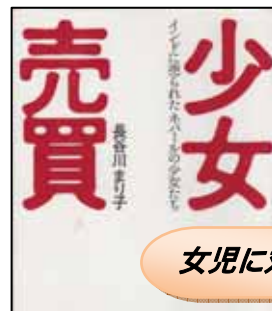
性犯罪にあったその日から、変わってしまった身体、考え方、家族や恋人との関係の変化などを切実に語る。性犯罪被害者に対する偏見、無理解、表面的な慰めがどんどん被害者を苦しめ、孤立させていく。性犯罪にあうということがどういうことなのか、周囲の理解はとても大切である。法的な整備も含め、まず当事者が救われることが第一だと著者は訴える。

### セクシュアル・ハラスメント

### 「妄想男は止まらない」

「胜利的和解・セクハラ裁判に記録」セクシュアル・ハラスメントと闘う労働組合ばあぶる・発売 2008年 (367.9 円)

本書は、理子さん(仮名)がセクハラ裁判を起こすために裁判所へ提出する文書として被害者が受けた被害の状況や気持ちを詳しく書いた陳述書を短くまとめたもの。欄外に労働組合ばあぶるが注釈をつけている。



### 「少女売買」

### 「少女売買」

インドに売られたネパールの少女たち」長谷川まり子・著 光文社 2007年 (368.4 円)

年間7千人ものネパール人少女が人身売買されているという！著者がボランティアで被害少女たちと過ごした10年間の全記録。



### 「わたしのからだはわたしのもの」

リンダ・ウォルグッド・ジラード 著 アーニー出版 1999年  
「いや」と感じたことは声に出すことが大切。子どもであっても人権があることを学べる絵本。

自宅からセンターの蔵書検索！

センターHPのここ をクリック！！

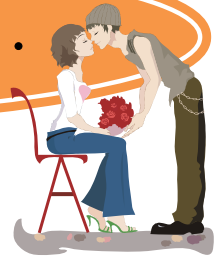


うら面：特集「夫婦のかたち、それぞれ」

おすすめ絵本や雑誌、映画の紹介&G-NET シネマおしらせ

11月22日「いい夫婦の日」にちなんで...

.....夫婦のかたち、それぞれ.....



『家日和』  
奥田英朗・著 集英社  
(913才)  
家の中で繰り広げられる夫婦の会話、やりとり、約束事...。他人にはわからない夫婦の日常を描く短編集。



『夫婦の家』  
天野彰・著 講談社  
(527ア)

『漱石の妻』  
鳥越碧・著 講談社  
(913ト)  
悪妻と呼ばれた夏目漱石の妻・鏡子は本当に悪妻なのか？夏目漱石夫婦の真の姿を描く。



夫婦が本当に「夫婦生活」を始めるのは定年になったとき。夫婦それぞれに暮らしやすい家とは？今の住まいを暮らしやすく改造する知恵を紹介。



『卒婚のススメ』  
杉山由美子・著 オレンジページ (367.3ス)  
「離婚」ではなく「結婚を卒業する」という考え方。夫婦それぞれがお互いに納得して辿りついた生活のかたちとは？

## よし、知ってる？

『かぞくのじかん』 婦人の友社 季刊

暮らす、育てる、働くを考える生活雑誌。  
きちんと暮らす、シンプルに暮らすヒントがいっぱい！



最新号の貸出OK！



## おすすめ映画

『マイ・シスターズ・キッズ』

監督：トマス・ヴィルム・ヤンセン  
デンマーク



エリックは有名な児童心理学者であるにもかかわらず、独身で子育て経験が無い。ある日、妹夫婦5人の子どもたちを預かることになった。上は17歳から下は3歳まで、いたずら盛り子どもたちを相手に児童心理をどこまで発揮できるか！？エリックの癒しキャラが受ける、デンマークのほんわかストーリー。

## え〜ほん(絵本)よ〜んでっ！



『おかあさん おかあさん おかあさん...』  
大島妙子・作 佼成出版社  
2005年

お料理がへたで、おちょこちょいで、おしゃべり。その上わすれんぼ。でもおかあさん大好き！かぜをひいて心細い子どものきもちがよくあらわれている絵本。

.....図書・資料室 ご利用案内.....

開室時間 10:00~16:00

11月休室日 1日、4日、8日、15日、  
22日、24日、29日

TEL 0748-37-3751



..... G-NET シネマ .....

11月19日(金)10時~

『愛に迷った時』

監督：ラッセ・ハルstrom / 1995年 / アメリカ

新婚時代のアツアツぶりも忘れかけ、家事にサークルにと多忙な毎日を送るグレース。ある日、夫の浮気現場を目撃するや...。ジュリア・ロバートの魅力輝くラブコメ！！

編集後記 実りの秋ですね、私も11月で一歳を重ねます。いつか振り返ったとき一つでも成果がでたなと思えるように歳を重ねていきたいです。(N)



# 図書・資料室だより



月1回の発行で“暮らしに身近な”男女共同参画の本いろいろご紹介しませう



## 信念を貫いて～やりたいことを実現する女性たち～

自分の人生、思うように生きたい！  
やりたいことをやる！そんな信念をもった女性たちの本をご紹介します。たくさんの苦難を乗り越えてきたからこそ今がある！元気をもらえる本ばかりです。

『プライドと情熱 ライス国務長官物語』  
アントニア・フェリックス/著  
渡邊玲子・訳 角川学芸出版 2007年  
(289フ)

「今は肌の色のせいで入れないけれど、いつかここに住むわ！」コンドリーザ・ライス(コンディ)は子どもの頃、両親とホワイトハウスの門前でそう誓った。人種差別に負けず、つねに白人の子どもより優秀であることを目指した子ども時代から大学や政界で活躍するコンディの真の姿を追った。



『女が映画を作るとき』 浜野佐知/著  
2005年 平凡社 (778八)  
ピンク映画監督として30余年にわたって300本以上の作品を撮り続けてきた女性監督・浜野佐知。男性に都合良く幻想された女性描写ばかりのピンク映画界で自分の意志で生きる女性にこだわって描き続けてきた。50歳で転機が訪れる。『第七官界彷徨～尾崎翠を探して』、『百合祭』(桃谷方子原作)で同性愛や高齢女性の性愛を描き、各国の映画祭でグランプリを受賞。男性中心の映画界で走り続けてきた彼女が女性視点の映画製作について語る。

『女職人になる』 鈴木裕子/著  
アスペクト 2005年 (750ス)

竹材工芸、和裁、箏箏、紬織りなど和の仕事の世界で働く女性たち取材。全く違う仕事からの転身、趣味や憧れからなど環境も年齢も様々だが、どうしても職人になりたいという決意のもと厳しい修行にも耐えてきた人たちがばかり。女性は門前払いされることも多く、地味で厳しく、怪我の絶えない日々など一人前になるには相当な努力と強い心が必要。それでもやりたいことのために修行する真摯な姿勢に感服させられる。作業の様子と女性たちの真剣な表情をとらえた写真もとても美しい。



『女脳』 矢内理絵子・茂木健一郎/著  
講談社 2009年 (796ヤ)

女流棋士の矢内理絵子さんと脳科学者の茂木健一郎さんの対談。男性棋士のほうが歴史も古く優秀と考えられがちな将棋の世界において、女性将棋の勝負強さ、ひらめきなど男性にはない『女脳』の可能性を徹底解明。女王・矢内さんの勝負に勝つための気持ちの持ち方にも注目。



『猛女とよばれた淑女』  
齊藤由香/著 新潮社 2008年 (289.1サ)

齋藤茂吉の妻にして齋藤茂太、北杜夫の母である齋藤輝子。明治28年生まれ、大病院のお嬢様で9歳のとき茂吉と婚約。明治女の強さで関東大震災、東京大空襲を乗り越え、89歳で亡くなるまでに108カ国を旅した。異国の地で病気になっても、危ない目にあっても、ケロリとしてまた旅に出る。豪快でやりたいことを思いっきりする輝子の生涯を孫の齊藤由香が愉快地綴る。



自宅から所蔵検索!

センターHPのここをクリック!!



うら面：特集「生誕100年\*白洲正子」  
おすすめ絵本や雑誌、映画の紹介&G-NETシネマおしらせ

白洲さんは著書『近江山河抄』などでも知られるように長年、近江をお気に入りの地とされていました。今年には生誕百年を記念して県内各地で催しがたくさん。図書資料室にも白洲正子さんの著書を所蔵しております。紅葉が美しい季節、白洲さんの本をお供に近江散策はいかがでしょう。



**『白洲正子自伝』 新潮社 1994年 (910シ)**

白洲正子が80歳代の頃に著した自伝。無口で気難しい幼少時代、能に夢中になった10代、アメリカ留学、白洲次郎との恋などがちょっとしたエピソードとともに綴られている。白洲さんの人柄が良くできている。

生誕百年＊白洲正子著作集



**『白洲正子の世界』 平凡社**

1997年(910シ)

白洲正子の愛したモノ、場所、暮らしなど随筆家・白洲正子を知るガイドブック。

**『近江山河抄』**

駿々堂 1983年 (216.1シ)

近江をこよなく愛し滋賀に何度も訪れた白洲さんの思い入れが伝わる随筆集。見慣れた山や湖の風景が白洲さんの随筆にかかるとこんなに魅力的になるのかと…改めて滋賀を訪ねてみたくなる一冊。



よし、知ってる？

季刊『bizmom ビズ맘』

仕事 育児 家庭 両立マガジン

働きながら子育てしているあるいはこれから働きたい女性のための応援雑誌。保育園や学童ってどんなところ？朝夕の忙しい時間帯の工夫は？子どもとの関係は？など“働きながら子育て”をテーマに知りたい情報がたくさん詰まっています。



最新号の貸出もOK！

え～ほん(絵本)よ～んでっ！



**『世界のだっこおんぶの絵本』**

エメリー&ドゥルガ・バーナード/文・絵 仁志田博司・園田正世/監訳 2006年 メディカ出版 (726八)

暑い国、寒い国、文化の異なるさまざまな地域で赤ちゃんはどんなふうに「だっこやおんぶ」をしてもらっているのでしょうか？お母さんや家族のみんなが働いているとき、楽しんでいるとき、赤ちゃんも「だっこやおんぶ」をされて一緒に過ごしています。そうして自分の住む世界のことを知ります。民族衣装の色彩と雄大な自然の絵にほっと心なませられる絵本です。

おすすめ映画



**『ナミと唄えば』**

監督：本橋成一  
企画原作：姜信子  
製作：顔綱あや

9歳から那覇のお座敷に身売りされて以来、ずっと歌と三線とともに人生を歩んできたナミイこと新城浪、85歳。そんなナミイおばあが三線片手に旅に出た。唄って遊んで人を喜ばせて、カレシと家来引き連れて果てしない旅物語のはじまり、はじまり～。

G-NET シネマ

10月15日(金)10時～

**『ダンシング・ウィズ・ライブズ』**

監督：横間恭子 2008年/日本/字幕/71分  
阪神大震災で家族全員を失いながらも強く生きる日本人ダンサーの10年を追ったドキュメンタリー。

……図書・資料室 ご利用案内……

開室時間 10:00～16:00

10月の休室日 4日、12日、18日、19日、25日

貸出 図書...5冊3週間 ビデオ...2本1週間

TEL 0748-37-3751

編集後記

暑すぎる？夏もようやく一段落、季節は秋へ。どんぐりや落ち葉、赤い木の実を見つけると秋を感じますね。(N)

